

第1回蒲郡市住生活基本計画策定委員会の主な意見と対応方向の検討

発言者名 (敬称略)	主な意見	対応方向 □課題・施策検討で対応
小松委員長	三河地域の特徴であるが、外国人居住者の方が増えている。 外国人の方がどのような住宅にお住まいで、外国人の方の生活や居住ケアをどうしていくか。今回の計画策定にあたり議論していく必要がある。 直接ヒアリングで調査も考えられる。	三谷地区にある外国人が入り出りするお店で、ヒアリング調査を実施予定(3/16)。 塩津地区で行われている日本語教室の参加者に対して、ヒアリング調査を実施予定(未定)。 □施策検討の段階で、効果的な方策を検討してみる。
小田委員	ゴミ屋敷についてはどうか。	「蒲郡市住居等の不良な生活環境を解消するための支援及び措置に関する審議会」で認定されたゴミ屋敷は4件。 環境清掃課において、訪問や指導書送付を行っているため、この計画での施策検討は行わない。
山下委員	高齢者に関わる設備の設置状況の推移のデータがあるが、この場合の高齢者等のための設備とは？	【住宅・土地統計調査の内容】 問：高齢者等のための設備等について、当てはまるものすべてにチェック ・手すりがある(玄関・トイレ・浴室・脱衣所・廊下・階段・居住室・その他) ・またぎやすい高さの浴槽 ・廊下などが車いすで通行可能な幅 ・段差のない室内 ・道路から玄関まで車いすで通行可能 ・これらの設備はない
藤田委員	耳や目が不自由な方、車いすの方など障害のある方についての内容が少ないように思う。	現行計画の施策では、「地域福祉の推進」、「人にやさしいまちづくりの推進」があり、「蒲郡市第5期障害者福祉計画・第1期障害児等福祉計画(平成30年3月)」のアンケート調査において、人にやさしいまちづくりの施策に対する満足度は低く、今後の重要度は高い結果であったため、引き続き取組が必要。 □施策検討の段階で、効果的な方策を検討してみる。
羽賀委員	空家の所有者は物置で使っているなど、空家という自覚や認識がないため、空家だと認識してもらい、空き家バンクに登録することでメリットを生み、登録件数を増やす施策が必要。	□施策検討の段階で、効果的な方策を検討してみる。
	アンケート調査の空家の問いに「空家を所有しているが、荷物が片付けられない」の回答の追加をお願いしたい。	一般市民アンケートの空家の問いに追加。
菅沼委員 (代理)	蒲郡市の魅力が重要だと思う。蒲郡市の何が魅力なのか、どういう風に感じてもらいたいかを調査したほうが良い。	一般市民アンケートの「蒲郡市の魅力は何か」の問いで反映。